



ききょう便り

平成26年 新年号(第36号)



ききょうの里ホールの窓から

認知症に思う

評議員 小林 澄雄



明けましておめでとう御座います。昨年は、富士山の世界文化遺産の登録、「和食」のユネスコ無形文化遺産、又東京オリンピック・パラリンピック招致の成功と日本列島が喜びに沸いた年でした。そんな時、新聞の2面を見ると認知症の患者が世界で4千4百万人いると書いてあり、2050年には、今の3倍の1億3千5百万人が発症すると言う事でした。介護施設の充実も大事だが、自分たちに何か出来る事はないかと新聞を見ていた時、ある投稿欄に歳を重ねると、キョウイク（今日、行く所があること。）とキョウヨウ（今日、用事があること。）が大事だと書いてあり、生きいきと生きる事の教訓だと感じとれます。自分で体を動かし、友達を多く作り、少しでも介護を受けない様にしようと言う気持ちが伝わって来ました。ききょうの里にはききょうデイサービスセンター岡谷がありますが、これから増えていく認知症の利用者様一人ひとりに、多くの生きがいと安らぎを与えて頂きたいと思います。施設で御苦労されている職員の皆様にとって、今年も良い年でありますように願っています。

社会福祉法人 桔梗会

特別養護老人ホームききょうの里
ききょうの里短期入所生活介護事業所
ききょうデイサービスセンター
ききょうの里居宅介護支援事業所
沼田市在宅介護支援センターききょう

ききょうデイサービスセンター岡谷
ききょうヘルパーステーション

〒 378-0002

群馬県沼田市横塚町 957 番地 2

TEL 0278 - 23 - 8831

FAX 0278 - 23 - 8832

〒 378-0061

群馬県沼田市岡谷町 687 番地

TEL 0278 - 23 - 8861

FAX 0278 - 23 - 8852

発行責任者 諏訪 光生

ききょうの里（従来型）施設の新たな取り組み

ききょうの里（従来型）では利用者様にゆとりがあり、充実した生活を送って頂けるように、タイムスケジュールの見直しを行いました。その結果、食事をゆっくりと自分のペースで召し上がって頂く事が出来、食後は、レクリエーションやリハビリ又は行事等を行える時間に余裕がもてるようになりました。

レクリエーションの充実



これまでのレクリエーションは、日常生活では多く時間が取れなかったのが、日曜日を中心に変わりましたが、毎日、充実したレクリエーションが行えるようになりました。集団レクや個別レクの充実により利用者様の笑顔が増え、今まで知らなかった利用者様の新たな一面を発見する事が出来るようになりました。

リハビリテーションの充実



理学療法士の先生にご指導して頂いて、個別リハビリテーションを実施する時間を増やし、利用者様の残存機能の低下を防ぎ、自立した生活に近づける様に努力しています。

ご家族様より

ききょうの里の皆様方へ

ききょうの里（従来型）施設入所者ご家族様

冬の到来、いかがお過ごしでしょうか。この度は母が大変お世話になっております。ききょうの里に入所して（平成23年6月30日）早くも2年半程になり、今では毎日楽しく元気に過ごせているのも、施設長様をはじめ、介護士さん、職員の皆さんからの温かいお手当をしていただいているおかげで、家族共々安心しているところであり感謝しております。思えば震災の日、入所していた福島施設は津波にあり、急死に一生の命拾い、波が身体全部頭までかぶり、運よく助けていただきました。施設は全壊して、入所者約80人の内35人、介護士1人が亡くなりました。その後の原発事故で、街は騒然、たまたま沼田市の知人の紹介で沼田病院に入院することができ、回復後はききょうの里に入所させていただき本当にありがたい思いです。今後何かとご迷惑をかけることと思いますが、何卒よろしくお願い致します。

フォトアルバム(行事紹介)

季節の行事



クリスマス会でサンタとトナカイの着ぐるみを着て、入所者様と記念撮影！にっこりとした笑顔が印象的でした。もうすぐお正月なので、気分はウキウキです。

おいしい料理



餅つきを入所者様とご家族みんなで行いました。



作品展出品作品



施設内の窓越しから、真冬の花火大会を楽しみました。夏とは違った風情があります。



年末恒例、岳遊の皆様によるそば打ち行事を行いました。毎年、おいしいおそばをありがとうございます。



失敗をしなかった1日は 何もしなかった1日だ

失敗ばかりの毎日を送り、悩みすぎて自分の殻に閉じこもりそうになった時に友人が教えてくれました。「失敗を恐れる者は何も挑戦しようとしな。だからお前は失敗した数だけ頑張って考えて行動しているんだよ。失敗をしなかった1日は何もしなかった1日なんだよ。」って。

そういう自分を励ましてくれる言葉に出会った時は、出会うべくして出会ったのだと勝手に思っています。そうやって、多少勘違いでも、追い風を感じるようにしています。

「失敗」といえば、ネガティブな言葉と考えがちですが、ポジティブな言葉と今は考えています。一生懸命に生きていけば、必ず1日に1回は悩み、失敗します。悪いところがあれば良くするために悩みます。「どうすればいいだろうか」と考え「どうすればもっと良くなるだろうか」と考えます。考えることはちょっと苦しいですが、大切な時間だと思っています。

こうやって私は毎日の生活を送っています。何か失敗した時にはマイナスに考えず、プラスに考え行動するようにしています。なので、今は少し違う尺度で物事を考えられるようになってきたと思っています。



(ききょうデイサービスセンター
生活相談員 宮野入)

元旦の朝は爽やかに晴れ渡り、赤城山の天辺から昇る力強い日の出を見ることができました。まだかまだかと待ちわびながら、夜明け前の瑠璃色の空が徐々に色を変えていく様は何とも神秘的です。まわりの山々が先に色づき始め、鳥たちが騒ぎ出し…さあ、いよいよです。白く輝いた暖かい光が一気に降り注ぎます。寒くて凍り付きそうだった体が息を吹き返しました。「太陽の力はすごい！」と感じた瞬間でした。



私事で恐縮ですが、昨年暮れに入院の経験をしました。まわりの方々の何気ない一言に励まされ、さりげなく差し伸べられた手を取って…その積み重ねが支えとなって元気になれる力を与えてもらいました。お世話を受ける立場になって改めて感じたことです。

ヘルパーの仕事も同じだと思いました。利用者様が自分らしくご自宅でご自分の力で生活できるように支援していく仕事—利用者様の心と体に寄り添って、共にお日様を拝み、共に元気と生きる力を確かめ合える、そんなヘルパーになれるよう、日々精進していきたいです。

(ききょうヘルパーステーション
サービス提供責任者 佐藤)

職員紹介

この職に就いて



相談員
榎渕 望美

10年ほど前、実習生としてききょうの里にお世話になったことを今でも良く覚えています。当時、実習担当職員の方が毎朝、入所者全員に挨拶をして歩いていました。相談業務は相手を良く理解しないと出来ない仕事だから、毎日の変化を見逃さないように必ず現場に出る時間を作っていると話されていました。

私は在宅介護支援センターの職についてまだ日が浅く、訪問を主とする仕事は初めての経験で戸惑うことばかりです。主な仕事は担当地区のひとり暮らし高齢者の訪問です。ひとり暮らし高齢者や介護者からの相談を受けたり、在宅サービスが受けられるよう市や関係機関と連絡調整することもあります。地域の状況、訪問者の状況と理解を深めることは沢山あります。ひとり暮らしや高齢者だけの世帯など不安を感じていながら生活している方も少なくありません。そのような方が安心して暮らせるお手伝いが出来たら幸せだと考えています。

ケアマネ

一口メモ

それぞれの「時間」

昨年は20年と60年の式年遷宮の節目に当たり、今年もまた新しい歳が巡ってきました。明けましておめでとうございます。



ウィキペディアより

さて、盆も暮れも正月もないようなケアマネの仕事をしていると、「あれ？もう大河ドラマ？ つい昨日見たような気がするけど、もう1週間たったんだ?!」というようなことが多々あります。高齢の先輩方も同じようにおっしゃる方がいます。

確かに10才10年8万7千600時間と80才70万800時間の内の1時間では、同じ1時間でも比率が違います。経験のぎっしりつまった、その引き出しの中の1時間は探し出すのも大変です。

一方、超多忙人間の時間も、ある意味同じ理屈で早く感じるのかも知れません。しかもそれがまた実に認知症の方の時間の流れ方とよく似ているのです！たとえば「水切り」遊びをご想像下さい。飛び石が水面を跳ねる時だけ現実の時間に接していて、そのほかは自分の頭の中の世界(本人にとっては事実、実は空中)にとどまっている—というイメージ。コマ落とし映画やパラパラ漫画の絵のような、水面に触れている時間だけをつなぎ合わせた記憶の連続あるいは不連続…。おそらくは認知症の方ばかりでなく、かんたん邯鄲(かんたん)の夢のように普遍的な事なのでしょう。

大病に苦しんでいらっしゃる方は時の流れが止まってしまうときがあります。その瞬間その瞬間をとにかく乗り越えるので精一杯ですから。お産もしかり。

時間の神様に快く流れていただくためには、節目が大事なようです。だからこそ一緒に祝うお正月様はありがたい。お互い様でそれぞれの時間をいとおしみ、慈しみ、懐かしむ。瑞祥新春、心より謹んで年賀の寿ぎを申し上げます。
(介護支援専門員 大平)

ききょうの里太陽光発電設備設置工事について



社会福祉法人桔梗会では、国の地球温暖化防止対策に協力するため、温室効果ガスの発生抑制に効果的である太陽光発電設備を設置する事に致しました。平成26年2月までに設置工事を完了する予定で進めており、整備資金の一部は、一般社団法人新エネルギー促進協議会の補助制度(独立型再生可能エネルギー発電システム等対策補助金)を利用しています。

☆☆今後の予定☆☆

☆ききょうデイサービスセンター

- 2月 かくし芸大会
- 3月 ひな祭り誕生会
思い出アルバム贈呈
- 4月 お花見



☆ききょうの里(従来型・ユニット型)

- 2月 節分豆まき
- 3月 ひな祭り
- 4月 お花見
開所記念行事

☆ききょうデイサービスセンター岡谷

- 2月 節分豆まき
- 3月 ひな祭り
手作りおやつ・桜餅
- 4月 お花見



◇◇編集後記◇◇

現在、太陽光発電設備の設置工事を行っております。既にききょうデイサービスセンター岡谷では設置済みですが、これは社会福祉法人として、少しでも環境保全に努め、皆様のお役に立ちたいという思いから整備して参りました。工事中は何かとご不便をお掛け致しますが、趣旨をご理解の上ご協力をお願い致します。

(総務課 堤)

